



健康科学科目概要

IBLCE 健康科学科目要件の概要

IBLCE には、受験志願者からそれぞれの教育背景が健康科学科目要件を満たしているか知りたい、という問い合わせがあります。

要件を満たしているかの判断基準の概要を下記しました。

受験志願者の教育背景が認定された保健医療専門家を通したものでない場合、IBLCE は出願前に 14 の健康科学科目を修了していることを求めています。

健康科学科目図式（IBLCE Health Sciences Visual Graph）を参考にしてください。

次の 8 科目は、公認のより高いレベルの教育機関で修了していなければなりません：

- 生物学
- 人体解剖学
- 乳児の成長と発達
- 臨床研究概論
- 栄養学
- 心理学やカウンセリングスキル、もしくはコミュニケーションスキル
- 社会学や文化的感受性もしくは文化人類学

これらのコースは、次の基準を満たしていなければなりません。

無作為で行われる監査対象となった場合、志願者はどういったものを提出するよう求められるかについても記載しています。

1. 公認の機関で修了していること

世界中で認証は多様化していますが、機関は信頼できる外部第三者団体に公認されていなければなりません。

志願者は修了証明書、もしくは公認機関が発行した修了を証明する記録を持っている必要があります。

ACE Credit で認められた教育は、本要件を満たします。

2. 合格点を有していること

志願者は、合格点を証明するもの；成績書もしくは「合格」と書かれた文書を提出することになります。

時として、評価材料となったもの（例：小テストや試験、その他）を求められる場合もあります。

3. 最低1学期分のコースであること

履修単位を得られるための期間は、世界中で多様です。

ほとんどの場合、1つのテーマを十分に、25時間かそれ以上学ぶことになるでしょう。

志願者は、コースの長さについての情報を提供できるようにしておかなければなりません。

通常、こうした情報は修了証明書か記録に掲載されているでしょう。

4. 健康科学科目教育ガイドに掲載された内容でなければなりません。

健康科学科目教育ガイドでコース例を参照してください。

残り6科目については、より高いレベルの教育機関が継続教育で提供されたコースで修了してかまいません。

- 基本的な生活支援
- 医療記録文書
- 医学専門用語学
- 健康保健従事者の労働衛生と安全
- 健康保健従事者の職業倫理
- ユニバーサルセイフティ・プレコーション（感染予防策）と感染対策

IBLCE はこれらのコースについて、出願前の調査を取りやめています。従って受験志願者は健康科学科目ガイドを参照し、これらの要件についてより詳細な情報を確認する必要があります。

ご自身がお住まいの地域の IBLCE 事務局にお問い合わせをしてもかまいません。 www.iblce.org